

市報

大分いた

7.8.15

No.1179

あれから50年



昭和20年の中央通り
芦崎 豊田 豊さん提供

大分市平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかるに、近年、核軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和と人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

我が国は世界最初の核被爆国であり、広島、長崎のあの惨禍を再び繰り返さないように、核兵器の恐ろしさ、核兵器の廃絶を全世界の人々に訴え続けていかなければならない。

大分市は、日本国憲法に掲げられている恒久平和の理念に基づき、非核三原則を守り、大分市民の平和と安全のため全力を尽くすことを誓い、ここに「平和都市」とすることを宣言する。

昭和59年12月24日



戦後50年

今、平和の尊さを胸に

空襲で焼失した中島国民学校

地圖三



わたしの戦後50年は、戦争未期の昭和20年7月、母校の中島国民学校がアメリカ軍の大分市空襲で焼失した日から始まつたとも言えます。

一面、焼夷弾の油脂燃料が飛び散った火炎ばかり。昭和20年7月16日夜の大分市空襲は、すさまじいものでした。

この夏、わたしは中島国民学校6年生、11歳でした。今の頃田町三丁目（中島11条）の自宅には父と一人だけ。2人の兄は軍隊に行っていたし、3人の弟たちは母と一緒に由布院に疎開していました。うちの防空壕は、近所の人も一緒に入れる大きなものでしたが、いつも地下水がひざまでたまっていました。当時は、連日連夜の空襲が当たり前でしたから、夜もほとんど、この湿気だらけの壕の中で寝泊まりしていました。

この夜も空襲が始まった当座は、この地下壕の水をくんではバケツ消火をしていましたが、油脂焼夷弾の飛び火は、いくら水を掛けても消えるものではありませんでした。

が建っていた陸30分足らずで燃ぐ隣の長屋にも
いた。恐怖におのき、心臓がはち割れそうだ。
歯が「ガチガチ」となっている。
「2階を見てこい」という父の声で、自宅へ。
階段を上がりながら自分がげた
履きだつたのに気付いたが、そのまま駆け上が
る。やはり動転していたのでし
ょう。2階の便所まで確かめ
「無事だ」。一目散で防空壕に戻

A black and white photograph of a large, long wooden building with multiple gabled roofs and many windows, likely a food storage warehouse. The building is situated in a rural or semi-rural area with trees and other buildings visible in the background under an overcast sky.

から自分たちはどうなるのか、子供心にも、深く重いものがのしかかつてきました。心のふるさと、母校を失つた日から、一足早く戦後が始まったのです。

この夜間空襲で、大分市の中心部はほとんどが焼け野原となり、大分駅から新川の浜辺までが一望に見渡せるようになり、一ヵ月ばかりは、油脂焼夷弾のにおいが漂い続けていました。

敗戦の日、午後になつて、数え切れないほどのB29爆撃機の大編隊が、堂々と低空飛行で大分市の上空を次々に北上していきました。「負けたんだな、日本は…」。いやおうなしに納得させられる、落日の風景でした。

校舎を失つたわたしたち中島校の児童は、8月31日、廃校となつた母校の焼け跡を背に、次の学び舎、荷揚町校にとぼとぼと歩き始めたのです。

りません。「砂を掛けろ」とつさにみんなで畠の土を掛けたりしていましたが、空襲はますます激しくなります。

ふと中心街を望むと、赤黒く火事の煙が巨大に見えます。二三日は、

（そのころはどこの家も焼夷弾が天井に止まらないよう、天井をはずしていました）
わたしの家は戦災を免れましたが、この夜、同じ6年1組になったら、同じく天井の一家5人が焼夷弾の

かし、この土地に深く刻まれた
痛ましい戦禍を知る人は、確實
に少なくなっています。



戦前の由鳥小学校

体験

わたしたち第二高女11回生は、戦時下のため、修学旅行もアルバムもなく、「欲しがりません勝つまでは」と言いながらも、心寂しい思いで卒業しました。

昭和15年8月の満15歳の夏休みを返上し、中島飛行機製作所の旋盤の奉仕作業へ。朝8時から夕方5時まで、仕上げに専念するものもあれば、男子工員に混じって旋盤の難しい作業も…。しかも、終日立ちづくめで、帰路は足が棒のようになつたのを覚えています。

勉強どころではありません。農繁期ともなれば、出征兵士の留守宅の農作業の勤労奉仕に明け暮れた毎日でした。

そのころから、わたしたちは

卒業した後、女子挺身隊で働くことを余儀なくされました。わたしは友達と一緒に、19年卒業と一緒に第11海軍航空廠の会計課に配属となりました。汽車通学に慣れていたというものの、大分駅から今の岩田学園の辺りまで、徒歩でせつせと通ったものです。

昭和20年が明け、戦争は激しくなるばかり。毎日のようく空襲を受けるようになり、一日中防空壕に入らなければならなくなりました。航空廠も軍需工場の二、三重の重慶へと、二

じめした薄暗い中での仕事です。今度は、高城駅で降りて、徒步で、防空ずきんを肩から背負い、通つたものです。

通勤のため大在駅へ向かう途中のこと、1機の飛行機が飛んできました。味方の飛行機かと思つたのですが、突然の機銃攻撃にい、あわててわらこずみに頭突つ込んで難を逃れたこともあります。また、汽車に乗つて、空襲警報が鳴れば、汽

A black and white photograph showing three young women in traditional Korean clothing (Hanbok) working in a field. They are wearing white blouses with dark sashes and dark skirts. Each woman is holding a large, tall bundle of harvested rice or grain. The background shows a vast field under a clear sky.

学徒動員の農作業

A black and white photograph capturing a scene of post-war reconstruction. In the foreground, a man wearing a military-style cap and uniform is bent over, using a shovel to move large pieces of rubble and debris. Behind him, several other individuals, both men and women, are also working with shovels and wheelbarrows. Some are carrying bags or pushing wheelbarrows. The ground is covered in a layer of dirt and broken concrete. In the background, a streetcar is visible on tracks, and there are several multi-story buildings under construction or repair. The sky is clear, suggesting a sunny day. The overall atmosphere is one of hard work and recovery.

戰災復興事業

单行5分た過ぎたかな／＼おる
られません。昨日のことのよう
に、よみがえってきます。忘れ
てはなりません。犠牲になられ
た方々のご冥福をお祈りします。
4月、5月のころには、毎日
の空襲で危なくなり、滝尾の山
に横穴を掘り、事務所はそこへ
移転。穴の中での仕事が始まり
ました。今のようにクーラーや
扇風機があるわけではありません
。明かりすらともせず、じゆ

寂宿しているときは、春の鳥の音が聞こえます。そのままのまんべ姿で、いつでも空襲警報が鳴れば飛び起きたままのままです。

8月7日を過ぎると、戦争はますます激しくなるばかりで、大分市内にも2度の焼夷弾が投下され、駅前一帯は焼け野原となりました。

50年も過ぎようとしているのですが、挺身隊の思い出が忘れられません。昨日のことのよう

戦争が終わり、2年がたつたある日のこと、畑で草取りをしていたところ、突然、一人の男の人が目の前に現れました。だれだろうと見てみると、戦死したんだと思っていた兄が…。世間並みの戦後の苦労の中、我が家では、それが唯一の明るい出来事でした。

50年が過ぎた今、平和な生活、平和な今に感謝しています。



"豊かな環境のオアシスをめざして" (仮称)七瀬川自然公園整備事業

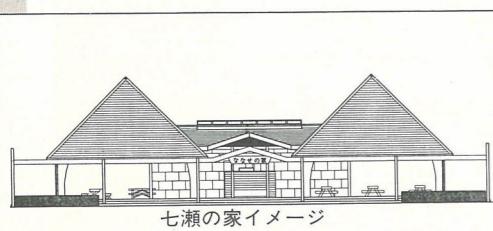
・トイレ1棟、あずまや1棟
※樋門（水門）を設置し、魚類などの生態系を考慮した工夫された魚道もつくります。



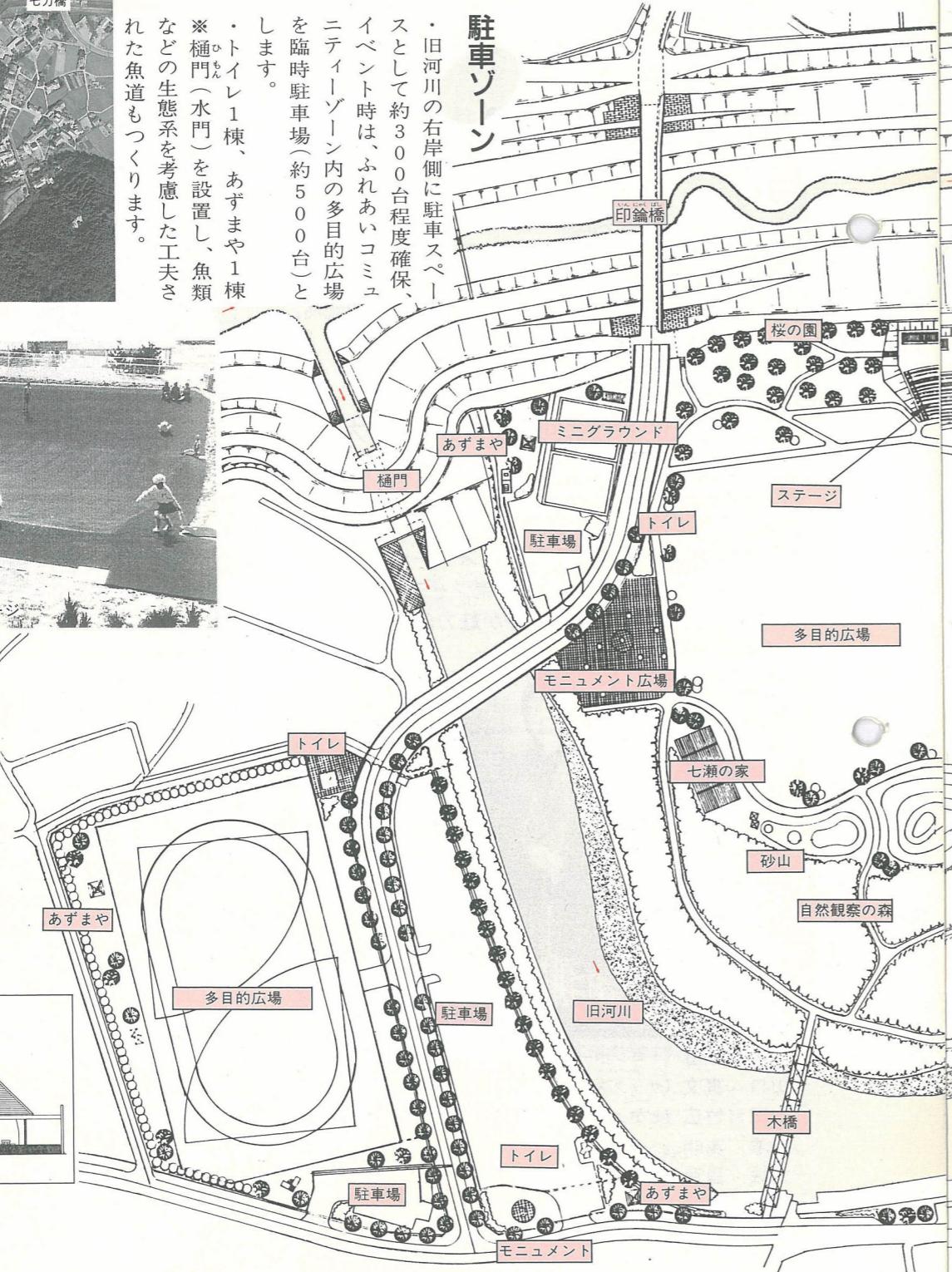
スライダーイメージ



ふれあいコミュニティーゾーン



世先 土木管理課
6111內線1712) へ



公園整備事業

川は、子供のころから水浴びや水遊びをしたり、魚釣りをしたところとして、懐かしい場所であるとともに、水の流れや瀬音に心なごむ場所でもあります。子供たちからお年寄りまで、一日中楽しめ、人と自然とが触れ合える水辺空間としての（仮称）七瀬川自然公園整備事業が、平成11年春の完成をめざし、今年度から、事業をスタートします。

このほど公園整備プランがまとまりましたので紹介します。

このほど公園整備プランがまとまりましたので紹介します。

は広い駐車場をもつた大規模なイベントが開催できる自然公園として整備します。

現地にある雑木林、竹林を極力残し、自然観察の場とします。
25,000 平方メートル

自然を生かした親水公園

・スライダー

親水ゾーン

ふれあい「ミュニティーズーン

川は、子供のころから水浴びや水遊びをしたり、魚釣りをしたところとして、懐かしい場所であるとともに、水の流れや瀬音に心なごむ場所でもあります。子供たちからお年寄りまで、

自然を生かした親水公園

大分川の支流である七瀬川の一部が、馬蹄状に屈曲して、洪水時には危険であるため、ショートカットして、災害を防ぐため

- ・スライダー
- ・水田：650 平方メートル
- ・池：水生植物と水生生物
- ・多目的広場（芝生）：28、
000 平方メートル
- ・砂山、展望の丘
- ・休憩ハウス（七瀬の家）：床
面積 300 平方メートル（小学生 80 人）

親水ゾーン

現風景を維持するため、極力
自然景観を壊さないように整備
します。

飛び渡り石

・つり橋：両端がY形で、片方
は車いすで利用可能、長さ約85

ふれあい「ミニユースティーズーン」
運動会やソフトボール、ゲートボール大会などに利用します。
・多目的広場：16,000平米
方丈（サッカー1面分）
・モニュメント
・トイレ1棟

けんらん 豪華、絢爛絵巻 本場鶴崎踊大会

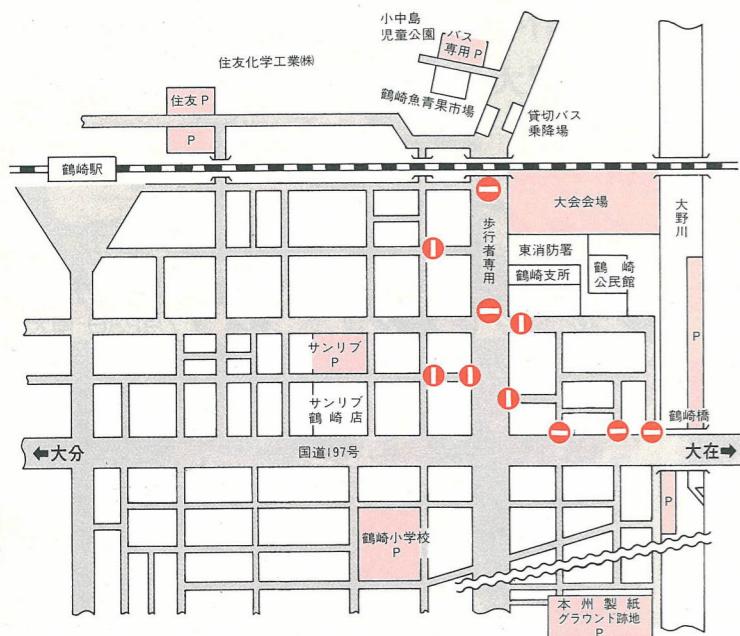
8月19日(土)、20日(日)

午後7時30分~9時40分

(※両日とも雨天の場合は、21日(月)に順延)



交通規制図並びに駐車場



▷問合せ先 市観光協会 (☎6111内線1632) へ。

夏の風物詩として有名な「本場鶴崎踊大会」が、鶴崎公園グラウンドで開催されます。大会当日は、400年余りの歴史と伝統を誇り、郷土の代表的民俗芸能である「鶴崎踊」を、約2時間、たっぷりとご覧になります。

交通規制並びに駐車場

会場周辺では、午後6時30分から10時まで交通規制を実施します。みなさんのご協力をお願いします。

人間の尊さ



8月は、「差別をなくす運動月間」です。部落差別をはじめ、さまざまな差別がありますが、このような問題の解決には、差別の不正さをみんなで正しく理解し合うことが大切です。次の事例について考えてみましょう。「実はなあ、和子の結婚のことで親せきが反対しているんだ。彼が同和地区の出身だということが言えないけど…。」と、父が家族に話しました。



それを聞いていた妹の秋子が、「そんなおかしいよ。同和地区の人と結婚すると不幸になるとるといふの。親せきの人だって、彼とは一度も会ったことはないし、全然知らないはずよ。それに、そんなことにこだわるなんて、おかしいわよ。家の大事なこともみんな、親せきの人達が決めるの。後の責任はどうしてくれるの。後はお姉さんが将来に夢持つてくれるの。

それを聞いていた母親もうなづいていました。それを聞いていた母親もうなづいていました。

~OITAミュージックウェーブ~

JAZZ SUPER SESSION '95 IN OITA

11/24(金)

- ▷場所 大分文化会館
- ▷開場 午後6時
- ▷開演 午後6時30分
- ▷前売り 3,800円(指定席)・3,000円(自由席)
(当時は各500円高)
- ▷発売日 8月26日(土)から

小野リサBANDと向井滋春J・5が大分でホットなライブ。

明るい空、澄んだ水、どこまでも広がる野原、そして情熱…。それらを感じさせる“小野リサBAND”的な快なステージと、ハイレベルに研ぎ澄まされた一流ジャズアーティスト集団“向井滋春J・5”が魅力的なステージを繰り広げます。



向井 滋春 (トランボーン)
山口 真文 (サックス)
本田 竹広 (ピアノ)
金澤 英明 (ベース)
大坂 昌彦 (ドラムス)

チケットは、主要プレイガイドで発売します。
詳しくは、文化振興課 (☎5663) へ。



小野リサBAND

小野リサ (ボーカル・ギター)
津垣博通 (ピアノ・シンセサイザー)
八尋洋一 (エレキベース)
ナアメ・カセブ (ドラムス)
岡部洋一 (パーカッション)

'96
1/12(金)

松下修也 チェロコンサート(新春コンサート)

能舞台で繰り広げるチェロと邦楽器(尺八、琴)の調べ。
▷場所 平和市民公園能楽堂
▷開場 午後6時30分
▷開演 午後7時
▷前売り 2,000円(全席自由で当時は500円高)
▷発売日 10月14日(土)から
▷曲目 「セロ弾きのゴーシュ」「荒城の月~花」「春の海」他



**手作りイカダ
大野川河下り
大会**
7月30日 白滝橋～鶴崎橋



川魚つかみ取り大会
7月22日 松岡(大野川舟本橋下流左岸)



朝顔展
7月26日～30日 若草公園



100歳のお誕生日おめでとう
7月28日 大道 有田マツエさん

わたしは、カヌーの現役選手のころから、世界をめざす選手を育てることが夢でした。高校・大学とカヌーを続け、世界選手権大会に3回、アジア選手権大会に3回と、自分としては満足する結果を手に入れることができました。その経験を生かし、今は、大分桜丘高校と大分舞鶴高校の生徒を合同で指導しています。

カヌー競技の高校生育成指導 海原 堀田 育子

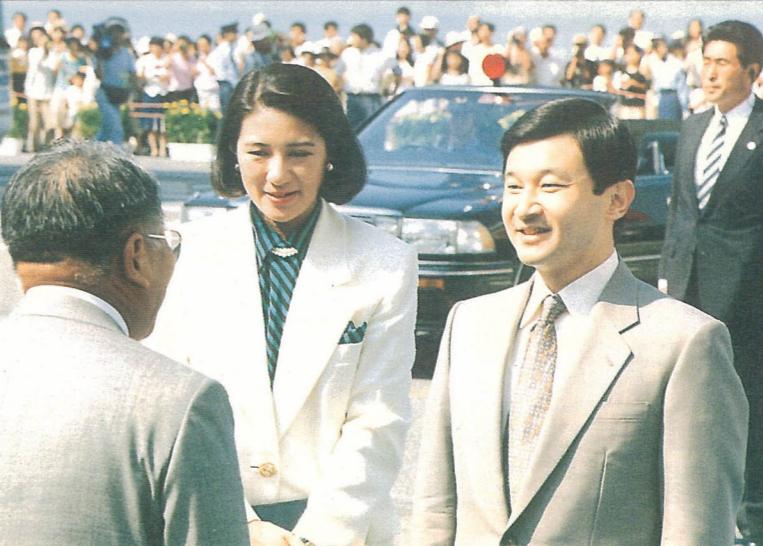
わたしは、カヌーをする以上、カヌーに限らず、勝つことの喜びを味わいたいものです。わたしは、勝つたときの喜び、また、努力をすれば不可能なことはないということを、生徒に体験させたいと思っています。

昨年、世界選手権に2人の選手、今年は1人の選手が代表に選ばれ、わたしの夢がかないました。

わたしはカヌーを通じて、多くの選手たちに出会え、本当に良かったと思っています。



いま
夢中です



皇太子ご夫妻来県
7月26日 マリーンパレス



佐野植物公園の今月の花
アデニウム(砂漠のバラ)



「銀ちゃんが逝く」オーディション
7月20日～26日 金池会館



鶴崎法心寺二十三夜祭
7月23日 法心寺(鶴崎)



わたしは、敷戸育泳会というスポーツ少年団に入つて水泳を毎日やっています。夏は、小学校のプールで、冬は市営温水プールでがんばっています。育泳会の良い所は、1年生から6年生までとても仲が良いことです。そして、水泳で良いタイムを出すことも目標の一つですが、わたしの楽しみは合宿やもちつきなど、いろんな行事があることです。

わたしは水泳をするまでは、ぜん息で体が弱かつたけれど今はほとんど良くなりました。わたしは、育泳会が大好きです。これからも泳いだり、行事に参加したり、最高学年として力いっぱいがんばりたいと思います。

わたしは水泳をするまでは、ぜん息で体が弱かつたけれど今はほとんど良くなりました。わたしは、育泳会が大好きです。これからも泳いだり、行事に参加したり、最高学年として力いっぱいがんばりたいと思います。

わたしと育泳会

敷戸小6年 森田朋実

元気くん

戦没者などの遺族の方へ特別弔慰金の請求を受け付けます

▼対象者 戦没者などの死亡当時に三親等内であった遺族の方で、平成7年4月1日に公務扶助料、遺族年金などの受給権を有するものがいない人 ▶必要書類(戦没者の人数分) ◎過去に特別弔慰金を受給した人:

①戦没者死亡記事のある戸籍(戸籍) 謄本 ②裁定通知書(発行地の都道府県知事名の記載あり) ③請求者本人の戸籍抄本 ◎今回初めて請求する人: 戦没者死亡記事のある戸籍(除籍) 謄本

※死亡記事のある戸籍(除籍)は、戦没者の死亡当時の本籍地の市町村役場で交付しますので、前もって用意し、当日ご持参ください。 ▶受付時間 午前9時~11時30分 午後1時~4時30分 ▶請求期限 平成10年

戦没者遺族への特別弔慰金受付日程

月 日	校 区 名	場 所
8/21(月)	金池・明野東・明野西 明野北	市役所201会議室 (第2庁舎2階)
8/22(火)	滝尾・森岡・大道	
8/23(水)	桃園・中島・住吉	
8/24(木)	東大分・日岡・長浜	
8/25(金)	荷揚・津留・舞鶴・春日	
8/26(土)	西の台・八幡・神崎	
8/27(日)	南大分・豊府	
8/28(月)	城南・莊隈	
8/29(火)	鶴崎・三佐・高田・川添 別保・明治北 松岡	鶴崎支所4階会議室
9/1(金)	大在	大在支所2階会議室
9/2(土)	坂ノ市・丹生・小佐井	坂ノ市支所3階会議室
9/3(日)	積田・宗方・横瀬 横瀬西	積田支所3階会議室
9/4(月)	東積田・田尻・敷戸 東田・鷲野・賀来	
9/5(火)	戸次・上戸次・竹中 判田・吉野	大南支所2階会議室
9/11(月)		

3月31日 ▶問合せ先 社会課
(内線1414)へ。
サマー・ジャンボ宝くじの引き換えは8月21日から

1等前後賞合を1億3,000万円、さらにラッキーイヤー賞200万円が当たる「市町村振興宝くじ」の引き換えが始まっています。期間は、8月21日から9月6日までです。この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよい街づくりに役立てられています。(総務課)

マッサージの無料奉仕を行います
▲日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。
(高齢者福祉課)

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

▼日時 9月3日(日) 午前10時~正午(受付は午前11時まで)
▼場所 県労働福祉会館
▼対象者 60歳以上の市民
▼問合せ先 市鍼灸マッサージ師会
(☎ 4327)へ。

障害児福祉手当などを振り込みました

8月期分の障害児福祉手当、該当者で振り込みのない人は、経過措置分)を受給者の指定口座に振り込みました。

特別障害者手当および福祉手当(経過措置分)を受給者の指定口座に振り込みました。

おいて常時の介護を必要とする20歳未満の人で障害児福祉手当の申請をしていない人は、障害福祉課へ。

障害のため借地で常時特別の介護をする20歳以上の人で障害児福祉手当の申請をしていない人、病気や障害のため日常生活に障害がある通貨や証券、海外の集結地で総領事館などに預けられた証券などのうち、日本に送り返されたものなどをお届け出をしてください。

売買・贈与・相続などで未登記の所有者が変わったときは、届け出をしてください。

記家の所有者が変わったときは、前所有者は、届け出をしてください。

中小企業向け融資制度の融資利率が下がりました

▼資金名と改正利率 小口資金: 年3・0% ○経営合

産税事務所(☎ 411406)へ。
防止資金: 年2・7% ▶問合せ先 先商工劳政課(内線1618)

611) (3) 判田淨

わが家のフォトライブーラー（乳幼児シリーズ⑤）



交通安全標語 合流は 笑顔でゆづって 交替に

大分市テレビ広報

フレッシュおおいた

OBS 午前7時~7時15分

8月19日(土) より深い友好を

~オースチン市親善訪問団来分~
姉妹都市オースチン市親善訪問団が来分。
大分七夕まつり市民総踊り大会の参加や陶芸などに楽しむ模様をリポートします。

8月26日(土) 平和の尊さを胸に

~ムッちゃん平和祭~
戦後50年にちなみ、戦争を体験した人のお話を紹介。あわせて、ムッちゃん平和祭の模様をリポートします。



津留校区（身代わり地蔵）

「孝行の里づくり運動」

「昔、病の母と二人暮らしの孝行者甚吉少年がいました。病気のため、食事も思うよう

に取れない母に、悪いとは知りつつ好物の甘瓜を食べさせようと畠の甘瓜を盗むようになり、その畠の持ち主に首を切り落とされてしまいます。しかし、甚吉が孝行者だったのですで、お地蔵様が身代わりに首を切り落とされました。この民話の中の身代わり地蔵は東津留の地蔵堂にまつられており、毎年8月24日に御開帳されます。

校区では、甚吉饅頭を販売したり、甚吉劇団を結成して物語を上演するなど、甚吉少年のよくな、人への思いやりや親への孝行をしようとして孝行の里づくり運動を行っています。



編集子ひとこと

◎日吉原レジャーポールの撮影に行くというので、用事がなかったわたしは子供を連れて見学兼夏休みの子供孝行をしたのは良かったが、数日後、子供が「お父さん、また行こうよ」。今度からは一人で見学に行こうと固く心に誓った。…(関) ◎わきたつのような入道雲とセミの合唱。太陽に一番近い季節。光に向かって、まっすぐに伸びているのは我が家のひまわりたち。反面、炎天下の中での取材で少々バテ気味なのはわたし。夏生まれなのに暑さに弱かったりします。…(牧)